

大津町 議会だより Ozu



第40号

発行/大津町議会
編集/議会広報編集特別委員会
〒869-1233
熊本県菊池郡大津町大字大津1233
☎(096)293-3111

平成19年5月1日

アカシア

ガイドライン 3月定例議会

定例会 2～3
委員会レポート ... 4～5

予算の目だま 6～8

「町政を問う」一般質問（10人）
..... 9～18

委員会構成が変わりました...19

に

前期5年で42億円

3月定例会

10年間で市街地整備 子育て支援を充実

3月定例議会を9日から23日まで15日間の会期で開き、18年度補正予算、19年度予算などを審議し、全員賛成、一部賛成多数で可決しました。

開会に先立ち、家入町長の施政方針が述べられ、

- ① 地域社会とともに進める安心と安らぎのまちづくり
 - ② 力強く自立した農工商併進のまちづくり
 - ③ 未来を拓くふるさとづくり
 - ④ 魅力的で快適な生活環境づくり
 - ⑤ 改革と分権の時代の新たな行財政運営
- 以上、5つの方針が提起されました。

なかでも、肥後大津駅周辺、中心市街地整備計画は今後10年間の計画ですが、そのうち前期5年間に約42億円の財源を投入する予定です。

中心市街地（550ha）の道路はもちろん、生活環境も含めて総合的に整備を図るものです。関係する住民の皆さんと意見を交わしながら進めるとしています。

以上の「まちづくり交付金事業」を含めて、新年度予算は、前年度比約12億円の増加となっています。特徴として子育て支援の充実で保育料の値下げや私立幼稚園の入園料補助などが提案されました。

請願「豪州とのEPA交渉に関する意見書」を全員賛成で可決し、意見書を政府に送る事としました。

一般質問は10人が行いました。

豪州とのEPA交渉に関する意見書

提出者
石原 大成議員

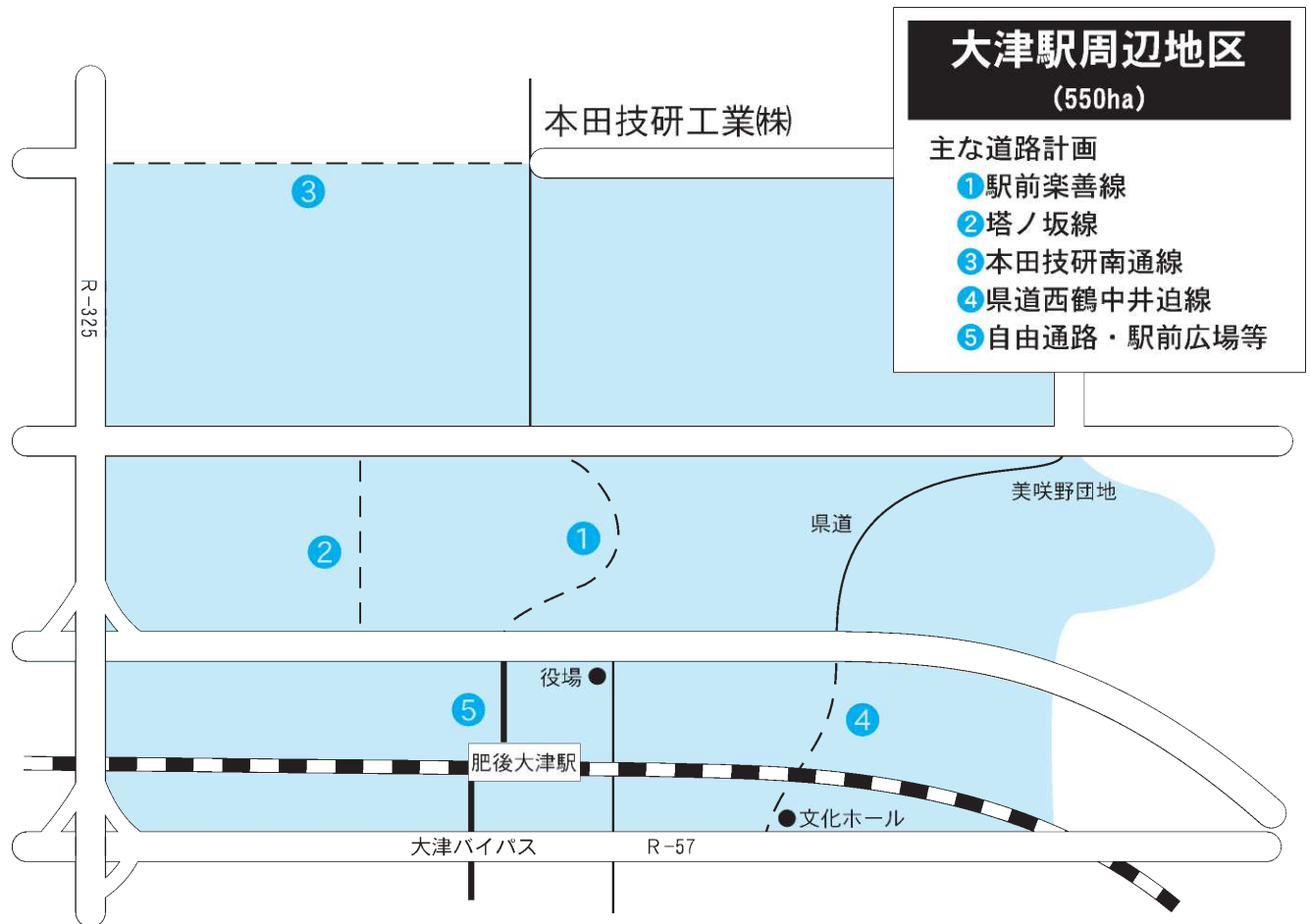
オーストラリアとのEPA交渉につきましては、平成17年4月の日豪首脳会談での政府間研究の開始合意以降、これまでに5回の研究会における議論を経て先般、その共同研究報告書が取りまとめられ、今後、政府間交渉に移行し、EPA締結に向けて第一歩を踏み出すこととなったところです。……

：先般、国が示されたオーストラリア産農産物の関税撤廃に係る影響では、主要な4品目において約7900億円の国内生産減となる試算がなされていますが、協定内容いかんによっては、オーストラリアから急激な農林水産物の輸入増加のみならず、今後の他国との交渉への影響も予想され、国内農業はもとより本県農業は大きな打撃を受けることとなります。

よって、国におかれては、今後進められる当該交渉に当たって、我が国の食料安全保障に悪影響を与えないように粘り強く対応されますよう強く要望致します。



中心市街地整備



19年度一般会計予算 賛成13人 反対2人

賛成

松永幸久議員

人権対策費の団体活動助成金は人権フェスティバルや地域文化祭などに生かされ、地区内外の共感も寄せられ、教育、文化、福祉、環境などの問題や課題を解決する方向に進んでいくと思う。

人権教育交流支援事業における先生方への謝金

は、1時間に1150円だが実際の参加はもっと多く、単価はもっと下がるのではないかと。この事業は、数十年前から行われてきた集会所での勉強、学習会であり、子どもの状況に対応しつつ発展的に継続されていると思う。今後この事業は支援が必要である。

反対

荒木俊彦議員

人権対策費4058万円のうち団体助成金が、386万円が含まれており、人権関係予算総額で9308万円、やがて一億円の予算。特定の地域、特定の人達への特別扱いが町民の理解は得られない。町民の7割以上が年収300万に満たない。この実態に目を向けて、町民の福祉の充実が最優先される予算になっていない。

反対

永田和彦議員

人件費について研修をすればその分本来の仕事が出来なくなる。その分、本来の仕事に誰をあてるのか、臨時職員をあてるのか、みんなが協力し合って職員の皆様方がするのか。そこでは又、時間外手当が発生する。以上のようなことから、反対する。

討論

レポート

厚生

総務

一般会計

Q 臨時職員は何人募集しているのか。

A 120人くらいである。しかし思うように集まらないのが現状だ。

Q 時給700円は安すぎるのではないか。

A 前向きに検討したい。

Q 路線バス維持補助金については、路線や便数を減らすと聞いていたがどうなっているのか。

A 関係町村との話し合いが必要であり、現在進めている。

Q 非常備消防団の団員報酬について、消防団員

630人とのことだが、名前だけの団員が増えていると聞いた。そういう人にも支払っているのか。

A 本人から請求印をもらい、団長を通して支払っている。

Q 人権対策費の中の団体活動助成金について、昨年助成を受けた団体の収支のなかで、役員手当てを69万円支払い、会議費一回2千円、交際費の中に告別式の香典等、組合旗開きのお祝い金。その他日当5千円支払い等支出がおかしくないか。

A その中には自主財源も含まれている。基本的には行政主体から自立へ、

組織の強化も含めて検討したい。

Q 地域づくり活動支援事業補助金はミニ特区事業に代わるものか。

A 活動支援事業補助金は最高額が20万円で、21年度までの3年間の事業である。ミニ特区事業は一律50万円で地元負担がなかった。ミニ特区事業である程度は力がついたと思うので、地元負担を3分の1お願いするものである。審査ではこれまでも同様に、飲食費は原則的に認めない方針である。

岩坂地区に避難場所を

兼ねた施設建設に関する陳情は、全員賛成で継続審議になった。



昨年のミニ特区事業（高尾野区）

一般会計

Q 1歳6ヶ月児健診・3才児健診と謝礼等が組まれているが、どのような実施か。また、健診は毎月行われているのか。

A 乳児健診・1歳6ヶ月児・3歳児健診と検診ごと別の日に毎月実施している。

Q 老人ホームの町外入

所者の内訳はどうなっているのか。

A 町外入所者は10人で、内訳は、西原村2人・菊陽町3人・熊本市1人・合志市3人・菊池市1人となっている。

Q シルバー人材センターの会員の中でどれくらいの人が実際働いているのか。

A 現在の会員数217人中の8割位である。

Q 緊急通報システム事業の周知方法はどうしているのか。

A 民生委員を通して該当者を把握し、ケア会議に諮り、決定している。

Q 老人クラブの会員は少ないのではないか。

A 平成16年度に補助金を拡充し、現在までに8クラブ増えた。県内では少ないほうなので、今後を増やしていきたい。

Q 防犯カメラ設置予定だが何台を予定しているのか。リースとの比較は検討されたのか。

A 大津中学校・大津北中学校に各5台設置予定である。パソコンとの連携が必要のため、購入を予定している。近隣の市町も購入が多い様である。

Q 歳入について行政財産使用料の、中学校の売店は誰が運営しているか。

A 各中学校のPTAが運営管理している。

Q 梅の造花は商工会にお願いするのではなく、町全体で保存に取り組み、若い人が継承していくような流れをつくっていくべきではないか。

A 後継者育成については、役場でも検討している。現在、中学校で講習会を開き指導されている町全体の取り組みについ

経済・建設

委員会

文教

では、文化財保護委員や関係者の皆さんとも協議し、検討していく。

Q 給食でもパン、朝もパンではどうかと思うが。
A 子どもたちの中ではご飯離れが多く、パン食が増えて欧米化になったのかと思われる。ちなみにご飯の残飯が多いよう

一般会計

Q 国の流れとして、農業委員会の廃止が言われているが。

A 県内はない。東京や大阪で農地の少ないところではあるようだ。

Q 大津町集落営農組織連絡協議会補助金の50万円はどうなっているか。

A 17集落において集落営農組織が立ち上がり、先進地研修、5年以内に法人化にむけた研修及び税務研修等に使用。

Q 有害鳥獣駆除補助金は何人に対するものか。

A 25人の駆除隊の組織に30万円補助し、他は猪1頭当り千円補助している。

だ。

国保特別会計

Q 被保険者証カード化システム変更は、現在の一枚の被保険者証を個人個人に変更するののか。

A そのとおりで保険者

Q 畜産振興対策事業補助金は523万円で昨年と同額だ。結果と成果はどうなっているか。

A 実績報告で確認し7万円減額した。目的に添った事業であるか見直しが必要であれば指導する。

Q 「明日の観光大津を創る会助成金」が「まちづくり推進活動補助金」に変わっている。有利な補助への組み替えと思われるが、県と町の解釈の違いはないか。

A 県とのヒアリングのなかで確認。

Q 林道新設改良工事費は当初の予算通りか。また土質は計画段階で分かったのか。

A 林道古城線工事で土

証を20年度から個人カード化することである。

条例改正

Q 平成17年度が6千6百万円となっていたが、小学3年生まで乳幼児医療費補助を拡大した場合、

扶助費の増加予想額はどの程度見込んでいるか。
A 18年度は、まだ途中であり7千万円程度見込んでいる。今回小学3年生まで拡大した場合の増加分は約1750万円見込んでいる。



(昨年) つづじ祭武者行列 (明日観が活躍)

質の把握が充分でなかった為2千万円増額になる。
Q 住宅家賃低廉化事業交付金で家賃はどうなるか。

A 建設費・修理費・保険料等から算出した家賃と賦課した家賃(町営住

宅の家賃)の差額の1/2を10年間国が地方公共団体に交付。町営住宅の家賃は住宅法で算出。

大津町公共下水道特別会計

Q 繰出し金について町民に対する説明はできるか。

A 費用を明確にする為特別会計を設置。繰出し金をなくすためには使用料を2.3倍にしなければならぬ。非常に厳しい状況である。

Q 起債について何年から借りてくるか。年数は。

A 昭和56年度から借りていて30年償還。利率は5%。

Q 受益者負担の妥当性と他市町との比較は。

A 幹線を除く末端の整備費を基に算出し隣接市町とも照らし合わせて300円に決定。合志市330円。熊本市200円。菊池市250円。

梅の造花



目だま

総務
町づくり



ホテル・ルートインからジャスコ方面

駅南線街灯整備

ジャスコ北側通りを中心に
(まちづくり交付金事業)

事業費 **2、000万円**

街灯 40本



支援センター予定地（肥後銀行本町通出張所）

包括支援センター整備

(まちづくり交付金事業)

人にやさしいまちづくりを推進する方策
として高齢者、障害者等の相談、支援を
行うセンターを町中心部に設置する。
肥後銀行跡地

総額 **6、000万円**

企業誘致対策

大津町に進出する企業への補助

工場等振興奨励補助金

2億6,000万円

文教厚生 子育て支援特集

予算の

公私立間保護者の負担格差解消のため私立幼稚園に入園する保護者に対し入園料の補助を行う。私立幼稚園への新規入園者80名を見こんでいる。町内の幼稚園は町立・私立各2ヶ所あり、入園料は町立3千5百円。私立2万5千円と2万8千円、私立幼稚園に一律2万5千円補助する事により、私立の入園料は3千

私立幼稚園の 入園料補助

200万円



自立支援指導教室建設予定地（給食センター北側）

保育園、 適合すれば 無料

保育園は、18歳未満の子供を3人以上扶養し、3番目以降の3歳未満児が保育所に入所した場合、保護者の所得に関係なく無料とする。

円又は無料に軽減される。

就園奨励補助 (幼稚園)

1,681万円



子育てセミナー

所得に応じ公私立の保護者に対し、保育料の援助を行う。
私立212名 公立12名

会員間で必要な時に子どもを預り、仕事と子育ての両立支援を行う。（社会福祉協議会委託、利用料金の半額を町が補助）

子育てサポート 事業委託

483万円

大津町にこれまでなかった自立支援指導教室を建設し、不登校対策やいじめの相談事業、家庭教育の相談事業に積極的に取り組む。

自立支援指導教室 (児童生徒適応指導教室)を 新たに建設

放課後児童健全育成事業

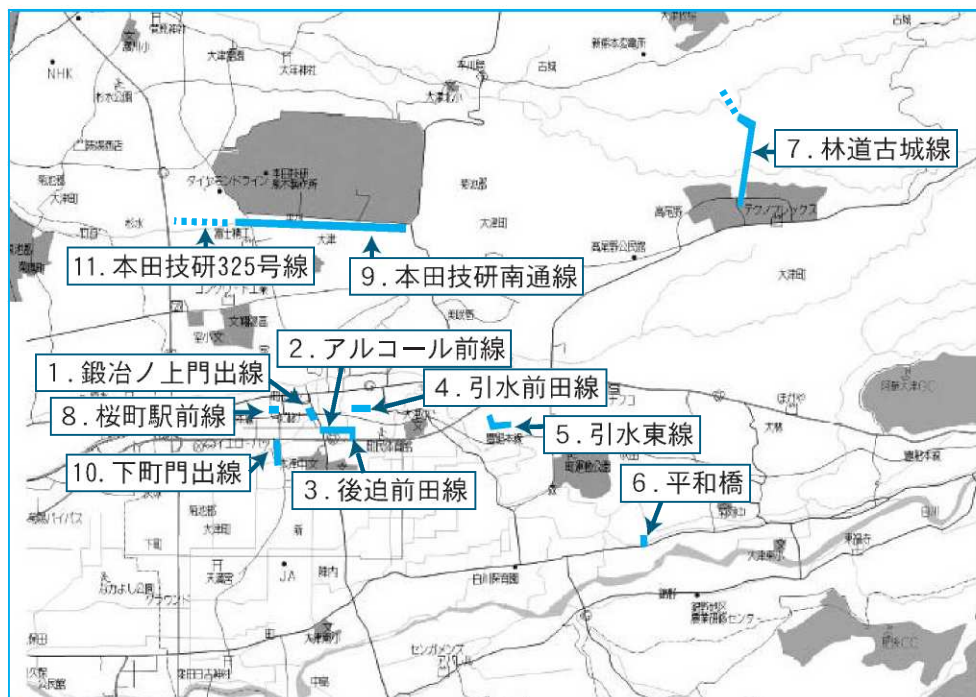
3,594万円

児童保育の運営費を補助し、放課後の児童の安全確保・健全育成を図る。
(白川保育園・一宇保育園・大津小分割クラブ・室小分割クラブ)

1,598万円

経済・建設 主な事業

道路計画



力強く自立した農工商併進のまちづくりと、企業は勿論、すべての人々や地域が「元気あふれる町」をめざした予算を抜粋

予算額 (単位: 万円)	番号	金額	番号	金額	番号	金額	番号	金額
	1	6,393	4	800	7	1,860	10	4,280
	2	7,050	5	2,500	8	4,070	11	4,525
	3	2,600	6	2,000	9	52,000		



担い手育成 北部・県営畑地帯総合整備

4,368万円

農地基盤整備を引き続き推進し、省力化や生産向上が図られると共に、認定農業者など農業の担い手育成に努める。



北出口団地 屋根外壁改修

1,038万円

計画的に改修を行うもので、源泉ポンプのメンテナンス、ろ過ポンプの取り替え、タイマー回路改修、檜風呂改修、大広間の畳の入れ替えが行われます。



岩戸の里の改修

築31年の12号棟から16号棟26戸の屋根と外壁の改修が行われます。17年度より開始し、19年度で完了します。

2,600万円



荒木 俊彦議員



耐久年数をすぎた立石住宅

①立石住宅の移転が始まるが、低所得者にとって家賃の高騰は、生きる権利に関わる問題であり、生活保護基準の1・5倍くらいまで減免措置が必要ではないか。

②室住宅の耐久度は限界であり、入居者の生命と安全に関わる。

高齢になった入居者に

町長／制度を検討する

住宅家賃の減免を

よその住宅に移れというのも酷である。室地区住民の皆さんが待ち望んでおられる集会所建設と合わせて、低家賃で入れる

住宅を現在地に建設して、入居者の安心を図るべきではないか。

家入町長

①立石団地は99世帯であり、現在の家賃は約5300円である。建替えに伴い、新家賃は1万7300円(2LDK)と、2

万4000円(2LDK)ほどになり、大変な負担になるのは確かであり、減免措置を考えたい。生活保護基準の月収8万8千円の1・5倍という基準についても検討する。

②ご指摘のように、室住宅は老朽化が進んで、台風等が来れば大きな被害を受ける可能性がある。もし建替えるとなると、

移転したりなどの負担が考えられる。

入居者の皆さんと相談しながら、その地域の東側の方にも、補修をしながら、台風被害等に耐えるようなことを考えてい。

企業団は、確かに本年度で3億円近くの利益があがっている。

企業団経営の中で、自然的な災害等の問題が起きた場合には、両町とも話し合いながら財政を繰り入れていく。

家入町長

水道事業は大切な福祉事業なのに、われわれの税金が一円も使われないのは、町民の福祉に反することではないか。

町長／菊陽町とも相談する

水道料の値下げを

大津小の児童数はますます増える傾向にある。本田技研関連の労働者を受け入れるためにも美咲野を中心とした住宅増加

は当然であると思う。町づくりの観点からも大津小の分離校建設を早急に具体化するべきではないか。

の予定である。

31学級以上になると過大規模解消を図る指導があるが、現在29学級であり、あと2、3年は大丈夫だと考えている。

一般質問
10議員

大津小の大規模校解消を 教育長／全町的に検討する



大津小の児童数は832名

町営住宅の今後を問う

町長／入居者の方向性で



新開 則明議員

円位が加算されている。建替えについては、6年間の間の傾斜家賃となっている。今後入居される方々の方向をしっかりと見極めて住宅行政に取り組んで行く。

今後、町営住宅の総世帯数の増・減の見直しを考えられるのか。改修や建替えにともなう家賃の変化はどう考慮しているのか。又、建築年数が古い住宅については災害等の危険性も心配されているが、どう対処してくのか。

家入町長

大体850戸が適当であると思う。町の住宅関連等の調査をしながら今後の住宅の計画方針を見直していく。改修をやった時は700円か800

行政区割と

通学校区割を問う

教育長／答申を大事に町長／地元相談して

行政区割と通学校区割を、総合的に判断して、見直しの方針が必要ではないか。500世帯の水準に達する区が増えつつあるが区の分割が考えられるのではないか。又、行政区割に入っていない地域があるが、今後どのように対処してくのか。

宮崎教育長

全校区見直し部会の方では、出生者数とか就学未満児の推移・企業の進出状況・宅地開発状況等が把握されている。混雑地区の見直しは平成19年度8月を目処に、全校区の見直しは来年3月を目処に検討委員会にお願い



完成間近い上鶴団地

している。その答申を大事にしながら対応を検討していきたい。

家入町長

500戸以上の世帯も多くなっている。行革絡みも考え再度検討しなくてはならないと思う。区画外の世帯については、どのような行政区の中で取り入れていくか関係区長とも相談していく。

参勤交代道を活かせ

教育長／案内板の設置町長／時間が必要

宮崎教育長

前期計画では説明板12基・石碑1基を計画したい。町の歴史的建造物の再現についても、検討していきたい。

家入町長

上大津・實戸口（すどぐち）までは全体の計画の中の一つとして取り入れていかななくてはならないと思う。



上大津に至る参勤交代道



永田 和彦議員

平成19年度施政方針 について

町長／出生率アップは期待できる

前年度より12億円予算総額を増やし、各分野に新たな施策が盛り込まれているが、子育て支援策は予算を膨らませた負担軽減策で、出生率の増加につながると思えない。また、企業誘致をもって

農工商併進のまちづくりというならば、他の自治体より優れた独自誘致策が必要である。また、まちづくりのリーダーとなるよう、職員研修費を増やし、計画的な人材育成を図るというのも逆で、独学し努力した職員を登用すべきであり、研修で本来の仕事から離れた分、不足した人件費が必要となる。12億円は3万人で割ると、一人当たり4万円であることを肝に銘じなければならない。

家入町長

増額予算の内容は駅前・中心市街地整備関連のまちづくり交付金事業と福祉、教育、道路関連等の予算も含まれている。出生率について率はアップした福井県では、女性の就業率や正規職員の割合、労働時間が全国ではトップクラスであり、共働きの割合も高い。子育ての経済的負担の軽減を行えば、出生率の増加につながると思う。

今後、保育料や乳幼児医療費、私立幼稚園費の

入園料の負担の軽減により、更なるアップが期待できる。

企業の独自誘致政策について県内の新たな増設立地協定は39件、うち大津町は9件。

「大津町企業連絡協議会」が企業誘致の大きな柱となっている。

職員研修は、職員が自らの能力を絶えず向上させていくことが必要であり、研修はその機会を与え、意識改革と資質の向上に寄与すると考える。



大津町役場庁舎



環境クリーンセンター

広域行政組合について

町長／情報公開体制は整っている

人吉球磨広域行政組合で、また、逮捕者が出た。町が参加する組合も独自の予算や議会を持つ自治体に準ずる存在であるが、不正なきよう経営を監視するシステムは万全だろうか。水道料金やごみ処理費が公共料金という性質を考えると、全組合の情報公開を進め、年間計画、決算報告、基金残高、費用では特に、交際費、食糧費、旅費、また、組合議員報酬や研修報告など、町民へ公開する責任と義務があると考えられる。

家入町長

広域行政組合として菊池広域連合、水道企業団環境保全組合、矢護川簡易水道組合があるが、情報公開条例を設定して、情報公開の体制は整っていると思う。

東部焼却場は2、3年前から建てかえ等の問題が出ている。長く使ったため、ごみの分別関係で職員、住民の皆さんが一生懸命やっていた。大津町は、2市2町の中でごみの減量が目に見えてきている。

農業生産基盤の 確立について

町長／推進の同意を得たい



手嶋 靖隆議員



中島からのぞむ水田

家入町長
迫井手地区は昭和28年の白川災害の復旧事業で土地改良事業が行われている。しかし道路・水路等については改修の時期がきている。圃場整備事業であれば国50%・県が30%・町13%・受益者7%で個人負担1反当り14万円である。また北部台地みたいな非農用地方式

農業経営安定のため生産基盤の拡充と規模拡大が必要である。北部地区畑総合整備事業をはじめ大津地区、錦野地区は圃場整備が完了している。計画から5年も経過している迫井手地区の整備事業が待たれている。原因の究明と、部分的に着手した場合効果が得られるのか。

で負担軽減の具体的な政策を示しながら推進の同

意を得ていきたい。

道路網の整備が急務

町長／十分検討して造る



都市計画道路

環境整備の中で重視されるのは道路整備である。すでに認定道路でありながらいつ施工されるか優先順位等不透明で、住民の期待に反するものがある。特に企業誘致を積極的に行うには道路網の整備は急務である。県道の整備の遅れの要因は何か。

家入町長
現在402本の町道認定道路があるが、昨年の総合計画の中で各地域より要望をあげていただいている。予算の中で新設・改良等を20路線整備する年間目標を立てている。交通体系の中で十分検討しながら造る。

関東・関西の本町出身者との交流が必要

町長／将来に向けて検討

以前、金融経済の集積地である関東・関西の本町出身者との交流がなされていた。近年は財政を考慮してか交流が希薄となり、中核都市の情報に欠如しているのではない。積極的に企業誘致の促進並びに地産地消とともにブランドとなる物産のPRに、生きた情報収集は行政の事業展開に必要な要件と思うが、再度取り組む考えはないか。

家入町長
県外居住の本町出身者との交流会というか、情報交換会は、「ふるさと大津会」ということで4年度の初回から11年度まで毎年、関東・関西地区で相互で開催。その後2年に1度となり13年度が最後である。当初の計画では、その地域でしっかりと取り組まれて、情報交換をする目的であった。今後については状況を判断しながら将来に向けて検討する。

現在、熊本県人会が両地区でいろいろな協議会を開催されている。そこに大津町特産品のPRの目的で甘藷を提供している。



月尾純一郎議員

もし大河ドラマ「加藤清正」が実現すれば、大津町が繰り返し全国的に紹介され、熊本城とともに多くの人が大津町を訪れる。



加藤清正公像

「加藤清正」を NHK大河ドラマに！

町長／要望があれば実現に向けて
動きたい

家入町長

加藤清正公の功績については、本当に素晴らしい方であり、大津町は多大な恩恵を受けていると思っています。熊本城築城400年祭などを通じて、県民の高まりも予想される。県や熊本市の動向も考慮し、要望される場合は、実現に向けて一緒に考えて連携を取っていきたくと思っています。

町の宝・上井手を重要文化財として後世に残せ！

教育長／上井手は生きた教材
町長／文化的・歴史的要素を加味

①上井手全流域を整備せよ ②上井手に流れ込む生活排水等の実態調査を急げ ③上井手流域を環境教育の場、歴史・文化学習の場として活用せよ。

宮崎教育長

上井手は町の宝。大津町の歴史は、その当時の時代背景や人々の生活を学習できる生きた教材であり、なかでも、上井手の学習は欠かせないものである。

家入町長

上井手の持つ、文化的要素、歴史的要素を加味し、県や土地改良区と協議しながら、平成19年から整備事業を計画している。19年は調査を行い、25年までを予定している。

生活排水の流れ等については、下水道関連等の整備が進み、水質の改善がなされている。今後生活排水の流入等の調査を行いながら、水質の維持改善をするよう排水対策や整備にも取り組んでいきたい。



上井手にかかる石橋

スポーツの森に 町営の野球場を！

町長／子ども達に夢と希望を与えたい

家入町長

町営の野球場ができれば運動公園の総合化が一気に進み、駅も必要になる。都市対抗野球とか日本選手権など本田技研をはじめ社会人野球関係の方々は、大津町での建設を望んでおられる様である。

公的窓口で活字文書読み上げ装置の設置を！

町長／相談コーナーの窓口を設置

家入町長

大津町では、相談支援事業の窓口を設置し、コミュニケーションを図るとともに、手話通訳員の配置、あるいは窓口業務の充実を図っていく。障害者の一人ひとりのために、できるものについて

はしっかりとやっていきたい。「活字文書読み上げ装置」もこのなかで取り組んでいく。また、議会広報とか町の広報とかの音声訳をしていただいているボランティアグループの皆さんとも十分相談をしていきたい。



真剣に研修を受ける役場職員

夢と情熱を持った職員 (職員の育て方)

町長／派遣、町民との交わり、人事
評価制度



坂本 典光議員

①学問的に優秀な職員は多いが、なによりも町を発展させよう、町民のために頑張ろうという夢と情熱を持つ人を育てるべきではないか。
②職員の視野を広げる施策を考えているか。

①職員は住民に対する奉仕とか町づくりに使命感を持ってもらいたい。住民との協働、情報交換ができる人、そのような職員になってもらいたい。

できる人、やる気のある者を評価する人事評価制度を取り入れている。将来的には、町づくりの一員として町民の財産になる職員になっていくと思う。

②真面目な職員は案外その与えられた仕事だけに邁進しがちである。

「他人の飯を食ってこい」と県に派遣したり、地域アドバイザーとして地域の振興をする中で、地域の皆さんの話を聞いたりして職員の視野を広げていきたい。

狭い室町の生活道路

町長／対策考えている



離合に苦労する上井手ぞい道路

室町は歴史のある地域であるが、道幅が狭く、車の行き来に不便をきたしている。

何か対策を考えているか。

家入町長

家屋が建ち並び改良するには大変困難な地域である。

離合箇所を設ける。また上井手の上、下の道路は地域の皆さんと相談して一方通行にしてもよいと思う。下道も狭いので今対策を考えている。室地区内での計画とし

では、道路改良事業は、南出口老人ホーム線、塔ノ坂線、室新生通り線、桜町駅前線、下道1号線などである。

側溝整備事業としては、室住宅北線、東道免線などである。

その他の質問

人権教育について

大津町立北小学校 建設について

町長／検討委員会の意見を聞きながら



藤坂 重美議員

家入町長
学校検討委員会の意見を聞きながら、しっかりと

北小学校建設については4年前すでに新校舎建設が決定されて今日に至っており、町長の決断にかかっており、保護者・地域住民の思いを一日も早く実現を。



体育の授業中（大津北小）

と方向性を決めたいと考えている。造る方向で今から町全体の問題も十分地域の皆さんと検討していく。子どもの登下校の問題もあり財政的な中で検討しながら、交通機関を利用するかどうかの問題やそれに対する補助の問題、いろんな問題があるが、全体的に検討しながら19年度ではやはり確定をしていくことが必要であるというふうに自覚している。

北部地域 過疎対策について

町長／企業誘致は必要

本田技研の第二の夜明けを目前に北部地域に企業誘致の考えはないか。

家入町長

北部についての、前々からの過疎関係対策として、やはり企業は必要であるし、そのためには、あの自然の美しさ、矢護川地域の自然を環境の森というような形で、我々も自然を保護しながら進めておりますので、それを壊さないような企業関係で、誘致を今後努めていきたいと考えている。



整備された北部台地

道路行政について

町長／夢の橋、いつかは

北部地域発展に関して、大津矢護川線から平川橋、また菊池赤水線より護東間の道路整備について執行部の基本的考えを伺う。

家入町長

平川の谷に橋を架けることは、いつかは夢は実現できるのではないかと思います。やはり企業誘致関連と伴う中で、県と十分推進をしていかなければならない問題と思う。菊池赤水線の方も今、改良がなされ、いろんな計画と調査もあっている。

19年度で、矢護川地区や平川から町中部。また護川地区に関連する道路整備とか振興については、地域の意見を聞きながら取りまとめ、北部北小区域の振興計画を考えていく。



おいしい給食調理中
(給食センター)

教育行政について

教育長／前向きに検討



鈴木ムツヨ議員

①不登校児・生徒ゼロへの取り組みは。不登校生の割合が熊本県平均は3%で菊陽中学校は5%だったのを18年4月不登校対策委員会を発足、生徒の欠けに対する職員の意識高揚を図り全体での取り組みを展開し、19年3月不登校生ゼロになる。大津町の初期の対策はどうなっているか。

②薬物乱用防止教育はどのように取り組まれているか。

③給食費の滞納は60%が保護者としての責任感や規範意識の問題で、33%が経済的な問題といわれています。大津町の滞納はどうなっているか。

④子ども議会(中学生)を取り入れたらどうか。

給食費(円)

	1食	月額	年間回数
小学生	209	3,500	184回
中学生	1・2年	240	183回
	3年	240 (1ヶ月のみ) 1,600 4,000	173回

し前向きに検討する。

②町の全小中学校で実施。薬物防止キャラバンカーによる講演と実験も体験。現実的課題でもあり推進していく。

③滞納は61万6千円

経済的に支払いが困難な方には就学援助の申請をされた方もおられる。督促は各学校・給食センターで行った。

④中学校校長とも相談

宮崎教育長

①不登校対策は来年度に向けた重点課題として、大津中、大津北中への教育相談員の配置、適応指導教室(自立支援教室の新設)など人的、物的環境の充実と内容の充実を図り、不登校減少に向け頑張る。

携帯電話基地局について

町長／問い合わせ中

昨年12月、雇用促進住宅より北30メートル位置に地上40メートル高さの携帯電話FOMA基地局が建設された。

現在鉄塔は、NTTドコモが25基、KDDIが6基、ソフトバンクが8基で合計39基建設されている。また、新規参入のeモバイルもそのうちに大津町に来るかも知れない。

1基の電波の範囲は1・5キロ円周内である。広い範囲には使用できない。もっと増える可能性



雇用促進住宅と携帯鉄塔

雇用促進住宅を

町営住宅に

町長／買う予定はない

雇用能力開発機構が運営する雇用促進住宅を、今後15年かけて売却する。町営住宅の建替え時期がきているものもある。

大津町の2棟80戸は2・3年前に外壁の塗装がされ15年で売却されるので、町営住宅として購入するべきでは。

家入町長

町にも打診があり検討したが、住宅ストックの計画に基づいて850戸が適当と考え、今のところは買う予定はない。

がある。安心安全のまちづくりを進める上でどう対処するのか。

家入町長

鉄塔は大規模工作物ということで町に協議する必要がある。県に直接申請される。県では周辺地域の住民への説明会を行うよう指導している。

町は住民説明会をしていただき説明区域や周囲との判断を、町に協議したかを確認できるように連絡、調整機能ができないか問い合わせ中。

熊本都市圏及び政令指定都市についての研究会とは何だったのか

町長／九州における基点都市の形成

熊本市を中心とした近隣14市町村で話し合い、研究されていたようだが、どのような話し合いをしたのか。また目的は何だったのか。

家人町長

九州新幹線が平成23年春、全線開業すると、福岡市はもちろん他の都市との競争が激しくなることが予想される。また道州制の導入論議など、国と地方の関係を見直す動きがある。将来を見据えた九州中央における基点

都市の形成が必要との意見もあり、幸山熊本市長の呼びかけで熊本市を中心とする4市11町村と県が参加して発足した。

政令指定都市については構成市町村長からの意見もあり、合併の話はないとの基本事項を確認の上研究を進めてきた。

今年2月、100万の人が躍動する九州中央の交流基点を基本理念とした基本計画が出来た。

研究会は終了したが、今後どのような形で取り組んでいくか決まってい。政令指定都市について周辺の市町村はまだ白紙である。大津町は、まずは自分のことが大事であり、しっかりした大津町を作っていく。



大田黒英生議員

町の名所、史跡、遺跡等の案内板の設置は充分か

教育長／検討したい



明日観の会員の皆様の努力で「大津歴史こぼれ話」という大津の歴史をひもとく素晴らしい本が発行され、多くの町民の皆様が読まれているようである。この本を読まれた皆様が現地へ行ってみたい、行つてはみたが案内板がないではあまりにも寂しい気がする。新たな案内板の設置の考えはないか。

大津町の史跡・遺跡を学校教育に取り入れる考えはないか

教育長／現在取り入れている。これからも推進する。

町には史跡、遺跡がある。この町で生まれ、育つ子どもたちにも、遠い祖先が築いてきた大津の歴史の流れをしっかりと自分の目で確かめるのも

宮崎教育長
本には65の話が載っており、その中で紹介された場所、現地説明などの案内板が設置してあるところが30箇所ほどある。町文化財保護委員さんの意見なども聞き、今後どうするか検討したい。

必要ではないか。社会科の授業として年1回程度の現地勉強の考えはないか。

宮崎教育長

現在大津町の小中学校では、それぞれの校区の歴史又は町の歴史を社会科や総合的な学習の時間で学習している。

大津小では、上井手や水車の起こり、大津街道杉並木など。

室小では地藏祭、光尊寺、足手荒神さん、銅銭糖の歴史など。

南小学校では、江藤家住宅に訪問し、当時の生活の様子、歴史等を学んだり、第11代横綱不知火光右衛門の記念碑を頼りに、学習をしている。

中学校でも、梅の造花造りや史跡マップづくりを行っている。これからも積極的に推進していきたい。



藤森昭二朗議員

計画されている焼却場、 最終処分場について

町長／今の環境を後世に残すこと
が私達の使命

菊池環境保全組合で200億円前後かけてゴミ焼却場と最終処分場を平成29年度完成を目指している。地球環境の変化が私たちの身にも感じる現代、活用しただけでは、ゴミも宝の山、後世を生きる人々のためにも、水、

空気、地下に負担をかける最終処分場を目指してもいい。

家入町長

現在の地球温暖化を少しでも改善し、今の環境を後世に残すことが私たちの使命と考えている。



東部清掃工場（高尾野）

土の健康を守ろう

町長／農地・水資源の環境保全を図る

地球上のすべてのものは健康でなければならぬ。人間社会は、定期的に健康診断を受けられる。食物を育ててくれる土。愚痴、不満も言わない、人間が思うままに使える。化学肥料、農薬、化学物質、土はすべて無害にしきれものだろうか。大津の大地の地下には、私たちが飲む地下水がある。大地の土の健康を調査したと思う。

家入町長

平成17年度に決定された農地・水などの資源や環境の保全向上を図るため、地域全体の農家による、化学肥料や農薬の使用を大幅に低減するなどの取り組みを支援することになっている。



地下水保全のための水はり

コンサルタントによって算出された施設の規模や用地の面積によって、建設に対する様々な事項を確定する。各候補地については、各市町より提案をいただいた、その費

用対効果及び土地計画、環境への配慮等の観点から決定することになっている。19年度において一般廃棄物処理基本計画策定業務を委託する予定である。

具体的には、肥料散布や堆肥散布、稲わらなどの有機物の投入や、化学肥料や農薬の使用の5割以上低減などエコファーマーの認定農家を支援します。申請農家は必ず一箇以上の土壌分析診断結果を提出することになっている。

マリー認定農家を支援します。申請農家は必ず一箇以上の土壌分析診断結果を提出することになっている。

子どものしつけは 学校と家庭の連携を

教育長／幼・保・小・中連携して

社会に送り出す人間形成の場、学校と家庭がしっかり話し合い、先生が自信を持って勉強、社会に出てのマナーの教育ができる環境づくりを。

期に合った挨拶、服装、正しい言葉遣い、時間を守る、話の聞き方などを連携して指導できるように進めていきたいと考えている。

宮崎教育長

来年度初めの設立を目指し、大津町の子ども全体を考えた連携、いわゆる幼・保・小・中連絡協議会を立ち上げる予定である。その時、その成長時期に合った目標を設定し、指導体制の確立を目指すための準備をしている。幼・保・小・中学校では、基本的な生活習慣の確立を目指し、その時

総務常任委員会



委員長 坂本 典光
副委員長 大田黒英生
委員 荒木 俊彦
委員 安永美智男
委員 松永 幸久



宇野 光廣議長

文教厚生常任委員会

委員長 新開 則明
副委員長 長谷部健一郎
委員 津田 桂伸
委員 藤坂 重美
委員 月尾純一郎



経済建設常任委員会



委員長 手嶋 靖隆
副委員長 藤森昭二郎
委員 永田 和彦
委員 石原 大成
委員 鈴木ムツヨ

常任委員会の
委員構成が変わりました

19年3月定例会より

議会運営委員会

大津菊陽水道議会

月尾純一郎議員を選出

議会選出監査委員

月尾純一郎議員を選出

委員長 大田黒 英 生
副委員長 坂 本 典 光
委員 手 嶋 靖 隆
委員 藤 森 昭二郎
委員 長谷部 健一郎
委員 新 開 則 明



大津町の宝 桜



桜を楽しむ人々ー 3月25日

県内屈指の桜の名所

本田技研南側道路

大津町はつつじの名所であるとともに、桜の名所としても多くの人達に愛されるようになってきた。旧来の昭和園や日吉神社、大松山公園に加え、昨年から桜まつりを開催している本田技研南側道路（通称フラワールイン）や中核工業団地前清正公道などが「美事」である。また大津町には、環境の森や2000年の森に、熊本市や企業等の協力により水源涵養のために広葉樹を植林しているが、そのなかに多くの山桜の木も植えられている。

泣きっ面に蜂

20

江戸という市街に住んだ庶民は、たいがい楽天的だった。お天道さまと米の飯はついてまわってら——とか、宵越しのゼニは持たねえ——など大きなことをいったものである。それで、これらの人々は陽気な毎日をあくって、泣くことよりも笑うことが多かったが、さりとて福もこず、いつまでたっても苦しい生活からぬけきれないのが常だった。

そういう庶民へ、泣きごとをならべていると、もつとわるいことが起こるかもしれない。泣いたって笑ったって、どうにもならないのだから、せめては笑っていると、助言もかねて、なぐさめているようにもとれる。

編集後記

「大津歴史こぼれ話」
「大津覚書」二つの歴史書が相次いで出版された。いずれも私達一般の町民が大津町の歴史を知る上で貴重な一冊といえる。「みんなでつくるうらやましい 心かよいあうまち」これは大津町のキャッチフレーズ。普通地方交付税の3年連続不交付団体を誇る元気な大津町だからこそ、今、大津の歴史を学び、先

人達の心を知る良い機会ではないだろうか。くしくも県都・熊本市は、熊本築城400年祭で燃えている。築城した加藤清正は、大津町にも上手・下井手、そして清正公道など、数々の偉業を印している。（月尾）

議会広報編集特別委員会

委員長 長 俊彦
副委員長 荒木 ムツヨ
委員 鈴木 ムツヨ
委員 坂本 典光
委員 月尾 純一
委員 新開 則明

この議会だよりはリサイクル推進のため古紙100%の再生紙を利用しています。